



# 闘 春

DD16形ラッセル 大系線



発行所  
国鉄労働組合長野地方本部  
長野市中御所3-2-22  
発行者 大田克彦  
編集者 清水孝次

2010年1月1日  
第1465号

## ●国労加入を 大胆に訴えよう！

明けましておめでとうございませう。昨年是不況の嵐の中、政権交代など大きな変動が起こった年であり、私たちの最重要課題である国鉄闘争も大きな前進があった年でした。

特に3月25日の「鉄建公団訴訟」東京高裁判決は、「不当労働行為」を明確に認めた画期的な判決でありました。

しかし、私たちが求めている「雇用・年金・解決金」は、どうしても「政治解決」でしか叶えられないものであります。その中、二・一六集会で「24年とならないうちに解決」と発言した鳩山内閣が生まれました。そして一・二六集会では、民主・公明・社民・国民新・共産各党の代表が参加し、解決への努力を表明しました。

私たちはこの時期を逃すことなく、解決へ全ての力を傾注しなくてはなりません。

また、私たちの組織は減少はしていますが、2年連続の新採加入を勝ち取り、さらに3名の仲間を迎え入れることができました。関係支部・分会には敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

組織拡大には方程式はないわけであり、日頃からの付き合いや

声掛けが大変重要であることに間違いありません。組織拡大の経験に学ぶことも必要ですし、私たちの側にも決意が必要です。

ただ、私たちは、加入して頂いた仲間に対しての責任を負わなくてはなりません。国労の運動に自信と確信を持ちながら、組織拡大に全力を挙げて取り組まなくてはならないと思います。

今年、大きな動きがあると思います。

国鉄闘争においては、近時下私たちは大きな決断をしなければならないと思うます。本

部は、今年の2・16集会を「報生集会」にしようと全力を挙げています。また多くの効率化、労働強化提案が出されています。組合員皆様のご意見や声を聞かせて頂き、この難局を乗り越えたいと思

いますので是非お力添えをお願い致します。最後に皆さまのご健勝をお祈り致します。

2010年1月

### 決断と決意の年！ 団結で難局を乗り越えよう！



執行委員長 太田克彦

今年、大きな動きがあると思います。国鉄闘争においては、近時下私たちは大きな決断をしなければならないと思います。本

部は、今年の2・16集会を「報生集会」にしようと全力を挙げています。また多くの効率化、労働強化提案が出されています。組合員皆様のご意見や声を聞かせて頂き、この難局を乗り越えたいと思

いますので是非お力添えをお願い致します。最後に皆さまのご健勝をお祈り致します。

2010年1月

